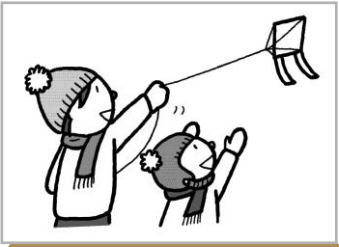


令和8年がスタート

あけましておめでとうございます。

令和8年も教職員一同、
子どもたちへの教育活動を充
実させていけるように、日々
取り組んでいきます。
ご協力の程よろしくお願い申
しあげます。



生活のリズムを整えて

これから1年で一番寒い時期を迎えます。インフル
エンザ・新型コロナウイルス・ノロウイルスなどの感
染症も心配です。ていねいな手洗い、マスクの着用、
バランスの良い食事、
換気に気をつける、しっ
かりと睡眠をとるなど
を意識し、生活のリズム
を整えてこの寒い季節
をお過ごしください。



《2・3月のおもな行事予定》

- 2月 2日(月)～6日(金) ナガリンピック(3・4年)
5年1・3組社会見学(読売新聞社)
3日(火) 5年2組社会見学(読売新聞社)
4日(水) 集会 クラブ活動(3年生見学会)
6年生おくすり講座
6日(木) 総合研究発表会のため
5年生以外児童下校13:20頃
5年生下校15:00頃
9日(月) 朝会
16日(月) 朝会
17日(火) 6年歯と口の健康教室
18日(水) 学習参観・懇談 1・3・5年生
19日(木) 学習参観・懇談 2・4・6年生
24日(火) 5年テニス教室
25日(水) 集会 クラブ活動(最終)
26日(木) ふれあい活動(お別れ会)
3月 4日(水) 委員会活動(最終)
5日(木) 卒業を祝う会
17日(火) 卒業式前日準備
(5年生以外は13:40頃下校予定)
18日(水) 卒業式(1～5年生はお休み)
23日(月) 修了式・離任式 給食終了

感染症の状況により、行事によっては変更・中止になる場
合があります。

1月 生活目標

きまりのある生活をしよう

1月の行事予定

日	曜	学校の行事など	その他の行事
1	木	元日 年始特別休暇	
2	金		
3	土		
4	日		
5	月	学校閉庁日	
6	火	学校閉庁日	
7	水		
8	木		
9	金	始業式 給食開始 5 時間授業 14:40 頃下校	
10	土		PTA 役員・実行委員会
11	日		
12	月	成人の日	
13	火	発育測定 6 年 避難訓練(地震・津波)	
14	水	発育測定 5 年 区教員研究発表会 13:40 頃下校	
15	木	発育測定 4 年 おはなし会 1・3・5 年	
16	金	発育測定 3 年 おはなし会 2・4・6 年	
17	土		
18	日		
19	月	朝会 委員会活動 発育測定 1 年 ナガリンピック週間(1・6 年)～23 日	
20	火	発育測定 2 年	
21	水	集会 クラブ活動	
22	木	ふれあい	ゆとりの日
23	金	保健しらべ 5 年社会見学(コリアンタウン)	
24	土		
25	日		
26	月	朝会 新 1 年生入学説明会 15:00～ ナガリンピック週間(2・5 年)～30 日	
27	火		
28	水		消防点検
29	木	ふれあい	
30	金	6 年卒業遠足(USJ)	
31	土		

学習参観 2月18日(水)・19日(木)

2月18日(水)5時間目に1・3・5年生、19日(木)5時間
目に2・4・6年生が今年度最後の学習参観・懇談会を予定して
おります。お忙しいとは存じますが、ぜひご予定いただき、ご
出席くださいますようお願いいたします。

【伝える力を】

新年を迎え、保護者・地域の皆様におかれましては、よいお年を迎えられたことと存じます。今年も本校の教育活動の推進にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

冬休みの間、家庭や地域では、子ども達はどのような時間を過ごしていたでしょうか。普段できない経験を通して、一回り大きくなって3学期を迎えていることと思います。学校生活においても一層自信をもって活動できるよう支援していきたいと思っています。

新しい一年がスタートしましたが、今年はどのような一年となるのでしょうか。社会は、本当に目まぐるしく変化し、発展を続けています。昨年当たり前だったことが、翌年には当たり前でなくなることが数多く起きています。そんな中でAIの社会進出は、目を見張るものがあります。一方では、尚更に、子ども達には、しっかりとした自分の考えを持つこと、それを自己表現する力、伝える力がより一層求められています。学校教育の中でも、それらの力を育む活動がより大切になっています。

そこで、子ども達に「伝える力」を育むために、何が大切なのかを考えてみました。学校や家庭以外の場所では、子ども達は、一定の緊張感を持って、失敗しないように用心しながら控えめに過ごしていることが少なくないと思います。そんな中だからこそ、皆の前で発言したり発表したりすることは、勇気が要りますし、うまくできたら自信につながります。そのため学校では、一人一人の子ども達にそんな機会が少しでも多く訪れるように、また、その機会に失敗させないように、自信を持たせられるようにすることを考えています。家庭や地域でも、自信をつけられるように様々な経験の場を作っているところですよ。

ただ「伝える力」を伸ばすには、もう一つ大事なことがあると思います。それは、子ども自身が、話を聞いてもらえる、話ができる機会をたくさん経験することです。話すことそのものに自信を持たせるために、ひとまず正否は置いておいて、話を最後までしっかりと聞いてあげる。子どもにとってしっかり最後まで聞いてもらえたという経験が大切だと思います。「そんな風に考えたんだね」「そんなこと考えられるようになったんだね」と認めてあげることで、子どもは自分の「伝える力」に自信を持つことができると思います。日本には、間違えたり失敗したりすることを恥ずかしいとする文化があると同時に、それを克服して大きな自信をつかめるのも日本の文化のよいところととらえて、間違えたり失敗したりすることを恐がらない、「伝える力」を備えた子ども達を育てていけたらと思います。